

平成 21 年 3 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社丸千代山岡家
 代 表 者 名 代表取締役社長 山岡 正
 (J A S D A Q ・ コード 3 3 9 9)
 問 合 せ 先 経営企画室長 渡部 哲寛
 T E L 029-896-5800

平成 21 年 1 月期業績予想(非連結)との差異に関するお知らせ

平成 20 年 9 月 12 日付「平成 20 年 1 月期中間決算短信(非連結)」にて発表いたしました、平成 21 年 1 月期(平成 20 年 2 月 1 日～平成 21 年 1 月 31 日)の業績予想との差異が発生いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 1 月期業績予想との差異

通期(平成 20 年 2 月 1 日～平成 21 年 1 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	7,089	196	200	75
今回予想 (B)	7,033	229	243	118
増減額 (B) - (A)	△55	32	42	42
増減率 (%)	△0.8	16.6	21.2	56.8
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 1 月期)	6,444	79	92	20

2. 差異の理由

売上高につきましては、新規に 7 店舗出店したことに加え、定期的な期間限定メニューの販売が新規顧客・固定客の増加に繋がり、概ね順調に推移いたしました。

営業利益・経常利益につきましては、原材料価格は期初の予測を上回りましたが、下期は電化厨房の既存店導入などによる光熱費の圧縮、売上に応じたシフトコントロールによる人件費適正化などを行ったことから、販売費及び一般管理費が期初予想を下回り、原材料価格上昇分以上のコスト削減効果が得られました。その結果、営業利益は 229 百万円(当初予想比 32 百万円の増加)、経常利益は 243 百万円(当初予想比 42 百万円の増加)となる見込みであります。

当期純利益につきましては、上記の要因や新規契約物件におきまして、敷金・建設協力金などの債権を廉価取得したことによる特別利益が 16 百万円発生いたしました。特別損失では、平成 20 年 11 月 13 日付「土浦工場閉鎖及び特別損失の発生に関するお知らせ」のとおり工場閉鎖に伴う除却損 13 百万円や店舗資産の減損損失 18 百万円などが発生しましたが、当期純利益は 118 百万円(当初予想比 42 百万円の増加)となる見込みであります。

なお、平成 21 年 1 月期の配当につきましては、前回発表から変更はありません。

※なお、上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上